

NEWS RELEASE

令和4年4月14日

お客様各位

株式会社 栃木銀行
取締役頭取 黒本 淳之介

株式会社栃木銀行 本部職員による 「とちぎん酪農応援キャンペーン」について

株式会社栃木銀行（取締役頭取 黒本淳之介）は、「春の生乳供給過剰問題」を受け、栃木県内酪農家支援の為、栃木県牛乳普及協会の協力のもと、栃木県内各営業店にて牛乳の消費喚起ポスターによるPRを行う他、宇都宮市内牛乳店の協力も頂き、本部役職員約350人に乳製品の購買促進運動を行います。

新型コロナウイルスの影響で生乳の業務用需要が減少し、供給過剰の状況が続いております。今年の生乳の生産量は、前年比で更に増加しており、4月、5月は生乳生産がピークを迎えることから、ゴールデンウィークで学校や企業が休みに入り需要が停滞すると生産工場の処理能力を超え廃棄される可能性があります。

県内の酪農家も、生産意欲の減退や買取価格低下等、生産の基盤を損なう恐れがあり、今後の影響が懸念されます。

栃木県は生乳の生産量は全国2位の酪農王国であり、栃木銀行では、「とちぎん酪農応援キャンペーン」として乳製品の購買運動を実施し、牛乳や乳製品の消費拡大を促しPRすることで、地場産業である酪農乳業界を応援して参ります。

記

「とちぎん酪農応援キャンペーン」の内容

- (1) ポスター（栃木県牛乳普及協会作成）を当行栃木県内店舗に掲示し、来店したお客様にPRするもの（4月、5月実施）
- (2) 宇都宮市内業者の協力のもと乳製品の持ち帰りセット（1,000円～1,200円）を本部役職員約350名に販売（事前に予約を取り4月18日（月）と4月25日（月）に販売）。

以上